

小木の子 われら

校区内
全戸回覧

令和6年12月24日発行

ナイスチャレンジ！

校長 高橋 高志

4月の便りでお伝えしたように、令和6年度は「挑戦」というキーワードを意識してきました。2学期は、その言葉の通り子どもたちや先生方の挑戦にあふれた83日間となりました。例えば、暑さ対策を万全にし、教頭先生が雲画像とにらめっこしながら予定通り実施できた小木港祭り。6年生のほぼ全員が自己ベストを更新した陸上大会。学びが伝わるよう声の大きさや速さ、動作を試行錯誤した文化祭・学習発表会。10kmを歩き切り、代官様に無事金を届けた全校遠足など…。挙げればきりがなくらいです。

その中でも、「授業での挑戦」として特に心に残っているのが、2年間のNIE（新聞を活用した教育）実践研究のまとめとして行った2つの取組です。

①小木小NIE研究発表会（11月22日、会場：小木小学校）

約30名の先生方に新聞を活用した授業（5・6年生国語）を見ていただきました。子どもたちが、課題解決のため、時間が足りなくなるくらい熱心に対話する姿に「新潟市の先生方にも見せたいくらいだ」といった声が聞こえてきました。また、新潟県NIE推進協議会会長の伊藤様からは、「今はSNS上での短文のやりとりが多くなっているが、小木小の子どもたちは、新聞を活用することで、時間をかけて文章の構成を考える『思考の持久力』が育っている」という評価をいただきました。

②小木っ子の主張（12月13日、会場：あゆす会館）

研究発表会で公開した授業のまとめとして、5年生は「自然環境を守るために」、6年生は「私の夢」というテーマで、3・4年生や多くの保護者・地域の皆様に発表しました。

3・4年生からは「～のことは初めて知りました」という感想が多く聞かれました。また、地域の方からは、「こんなに子どもたちがいろいろ考えて発表を作り、分かりやすく話していたことに感動した」という声をいただきました。改めて、自分が学んだことや思いは、自分の中だけに留めず、人に伝えてこそ価値を持つものだと思います。

2学期を振り返ると、教育活動の中でたくさんの成果を得ることができました。その過程で、結果を恐れず様々なことに果敢に挑戦した76名的小木っ子や先生方に「ナイスチャレンジ！」の言葉をかけたい気持ちでいっぱいです。

本日、通知表をお渡ししました。親子で2学期を振り返っていただき、ぜひお子さんに「あの時～したこと、ナイスチャレンジだったよ。」と伝えてあげてください。